平 成 30 年 度 事 業 計 画 書

公益財団法人 医学教育振興財団

平成 30 年度においては、事業の一層の充実発展を期し、以下の計画を推進する。

1. 医学教育に関する調査・研究並びに資料の収集

（１）第 38 回「国内医科大学視察と討論の会」の開催

国内の医科大学１校を選び、医学教育のシステム、カリキュラム等について実地に視察研究し、今後の医学教育の改善に資する。

期　日：９月 13 日（木）・14 日（金）／開催校：岡山大学医学部

2. 医学教育に関する研究の助成

（１）基礎医学教育、臨床医学教育及び卒直後教育の調査・研究に対する助成

（２）医学教育賞（懸田賞）

3. 医学教育機関の教職員及び学生に対する研修及び援助

（１）第 30 回「医学教育指導者フォーラム」の開催

国公私立医科大学（医学部）における医学教育の改善並びに教育研究組織の円滑な管理運営に資するため、医学教育について責任ある立場の者を対象に開催する。

期　日：７月 24 日（火）／会　場：東京慈恵会医科大学１号館講堂

テーマ：明日の医学医療を支える人を選ぶ：入学者選抜

講　師：

Dr Kevin Eva (Associate Director and Senior Scientist, Centre for Health Education Scholarship / Professor and Director of Educational Research and Scholarship, Department of Medicine, The University of British Columbia, Canada)

Dr Sally Curtis (BM6 Programme Leader, Faculty Widening Participation Lead, Medical Education, Faculty of Medicine, University of Southampton, UK)

（２）英国大学医学部における臨床実習のための短期留学

①医学生の派遣

派遣予定校６校（ﾆｭｰｷｬｯｽﾙ・ｾﾝﾄｼﾞｮｰｼﾞ・ｵｯｸｽﾌｫｰﾄﾞ・ｸﾞﾗｽｺﾞｰ・ﾘｰｽﾞ・ﾀﾞﾝﾃﾞｨｰ）

（３）川崎学園・グリーンテンプルトンカレッジ（JMEF）フェローシップ

医学研究者を英国オックスフォード大学グリーンテンプルトンカレッジに医学研究等のために留学させる。

（４）基礎研究医養成支援事業

各大学が実施している基礎研究医養成プログラムに在籍する学生に奨学金を支給する。

4. 医学教育資料等の刊行

『J.M.E.F.』の刊行、「国内医科大学視察と討論の会」、「英国短期留学」報告書の作成

5. その他目的を達成するための事業

内外の関連機関・団体との提携、協力及び交流を行うほか、医学教育機関から委託された事業を行う。

平成３０年度 事業報告書

（平成３０年４月から平成３１年３月まで）

公益財団法人 医学教育振興財団

平成 30 年度において、事業の一層の充実を図りつつ、次のとおり事業を実施した。

１．医学教育に関する調査・研究並びに資料

（１）第 38 回「国内医科大学視察と討論の

国内医学教育事情調査の一環として、岡山大学医学部の協力のもとに「岡山大学医学部における教育」を討論の主題として、大学からの説明、討論、及び学生との懇談を行い、学内施設の視察を行った。全国の国公私立大学医学部等関係者 106 名が参加した。

① 期日： 平成 30 年９月 13 日（木）・14 日（金）
② 場所： 岡山大学医学部
③ 討論の主題： ア プロフェッショナリズム・行動科学
イ 診療参加型臨床実習
ウ 医学研究者・医療人育成
エ 教育への学生参画
④ プログラム：

９月 13 日（木）

・開会挨拶　小川　秀興　医学教育振興財団理事長
槇野　博史　岡山大学長
大塚　愛二　岡山大学医学部長

・特別講演Ⅰ　医学教育の現状と課題
講演者）西田　憲史　文部科学省高等教育局医学教育課長

・医学科カリキュラム概要説明　淺沼　幹人　岡山大学医学部医学科教務委員会委員長

・講演１　学年進行プログラム：プロフェッショナリズム・行動科学
講演者）片岡　仁美　岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授
三好　智子　岡山大学大学院医歯薬学総合研究科助教

・講演２　研修医レベルを目指した診療参加型臨床実習
講演者）山根　正修　岡山大学大学院医歯薬学総合研究科准教授

・講演３　世界で活躍できる医学研究者・医療人育成を目指して
講演者）大橋　俊孝　岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授

・講演４　教育への学生参画の取組
講演者）学生代表　岡山大学医学部医学科医学教育学生会

・学生との懇談

・懇親会（岡山大学病院中央診療棟１階フードコート）

９月 14 日（金）

・特別講演Ⅱ　医学教育の改革とその波及
講演者）松川　昭博　岡山大学医学部副学部長

・総合討論　司　会）北村　　聖　国際医療福祉大学医学部長

・閉会挨拶　　小川　秀興　医学教育振興財団理事長
　　松川　昭博　岡山大学医学部副学部長

・施設見学　①解剖実習室、チュートリアル室・OSCE 室、シミュレーションフロア（MoMo シム）②IVR センター、バイオバンク

２．医学教育に関する研究の助成

（１）平成 30 年度「医学教育研究助成」

① 基礎医学教育、臨床医学教育及び卒後医学教育の調査・研究に対する助成事業である。本財団審査委員会において審査を行い、申請 25 件のうち５件を決定した。

・松本　暢平　千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター特任助教
医学生が能力を伸ばす際のトリガーとなる経験や行動、意識に関する混合研究法を用いた調査研究
350,000 円

・岩永甲午郎　京都大学医学部附属病院小児科助教
新生児蘇生講習会におけるアクティブラーニングのための教育システムの開発
350,000 円

・西森　久和　岡山大学病院血液・腫瘍内科助教
医学生、研修医の教育用骨髄穿刺・生検シミュレータの新規開発
350,000 円

・高村　昭輝　金沢医科大学医学教育学講座講師
能動学習方略を組み合わせた自己学習養成型・臨床実習前症候学診断学授業カリキュラム開発～事前学習・講義・SGD・ケースプレゼンテーション・シミュレーション・ポートフォリオの効果的組み合わせ～
300,000 円

・松山　　泰　自治医科大学医学教育センター准教授
「日本発」自己調整学習力の確立支援プログラムの開発
300,000 円

②「医学教育研究助成（平成 29 年度）報告会」の開催

平成 30 年 12 月 27 日（木）第一ホテル東京において、本財団役員等を対象に、平成 29 年度の医学教育研究助成の研究成果報告会を行った。

・報告１　拡張現実聴診教育システムによる教育効果の研究
　　報告者）三浦慶一郎　千葉大学大学院医学研究院循環器内科学非常勤講師

・報告２　大学病院における退院支援ツールと地域連携の教育現状および病院応需状況調査と、それらを用いた医学教育コンテンツ作成に関する研究
　　報告者）大西　丈二　名古屋大学医学部附属病院老年内科講師

・報告３　安全な中心静脈カテーテル挿入手技の標準化に向けた卒前・卒後教育におけるトレーニング方法の開発
　　報告者）加治　　建　鹿児島大学病院総合臨床研修センター特例教授

・報告４　医学生の院内急変対応訓練のためのシミュレーション教育法の開発
報告者）駒澤　伸泰　大阪医科大学医学教育センター助教/医療技能シミュレーション室副室長

司　会）前野　哲博　筑波大学医学医療系教授

（２）平成 30 年度「医学教育賞（懸田賞）」

若手の研究者を対象として、医学教育の奨励に貢献のあった者に与える医学教育賞（懸田賞）の第 25 号、第 26 号を授与した。なお、選考は日本医学教育学会に依頼した。

第 25 号受賞者：高村　昭輝　金沢医科大学医学部医学教育学講座講師
論文：Community and Interns' Perspectives on Community-Participatory Medical Education（Family Medicine 第 49 巻第 7 号）

第 26 号受賞者：松山　　泰　自治医科大学医学教育センター准教授
論文：Contextual attributes promote or hinder self-regulated learning: A qualitative study contrasting rural physicians with undergraduate learners in Japan (Medical Teacher 2017 26.Nov）

３．医学教育機関の教職員及び学生に対する研修及び援助

（１）第 30 回「医学教育指導者フォーラム」の開催

平成 30 年 7 月 24 日（火）東京慈恵会医科大学において、医学教育に責任のある方々を対象に、全国の国公私立大学医学部等関係者 135 名が参加して医学教育指導者フォーラムを開催した。

①　主題　明日の医学医療を支える人を選ぶ：入学者選抜
②　プログラム
・開会挨拶　　小川　秀興　医学教育振興財団理事長
西田　憲史　文部科学省高等教育局医学教育課長

・趣旨説明　　福島　　統　東京慈恵会医科大学教授／教育センター長

・講演１　“Who will look after your loved ones? Striving to optimize the selection of applicants ”
講演者）Kevin Eva
(Associate Director and Senior Scientist, Centre for Health Education Scholarship / Professor and Director of Educational Research and Scholarship, Department of Medicine, The University of British Columbia, Canada)
司　会）吉岡　俊正　東京女子医科大学理事長・学長

・講演２　“Reducing exclusivity and increasing inclusivity- Creating a medical profession reflective of society”
講演者）Sally Curtis
(Professorial Fellow Education, BM6 Programme Leader, Faculty Widening Participation Lead, Medical Education, Faculty of Medicine, University of Southampton, UK)
司　会）栗原　　敏　東京慈恵会医科大学理事長

・総合討論　　司　会）鈴木　康之　日本医学教育学会理事長

話題提供　大学入試者選抜改革の動向
講演者）山田　泰造　文部科学省高等教育局大学振興課大学入試室室長

話題提供　岡山大学医学部医学科の「国際バカロレア入試」
講演者）大内　淑代　岡山大学医学部医学科長・入試委員長

話題提供　地域枠は医学生の多様性確保の方策になりえるのか
講演者）前野　哲博　筑波大学医学医療系地域医療教育学教授

パネリスト）Kevin Eva／Sally Curtis／山田泰造／大内淑代／前野哲博

・閉会挨拶　　小川　秀興　医学教育振興財団理事長

・レセプション（大学１号館４階学生ホール）

（２）第 30 回「英国大学医学部における臨床実習のための短期留学」の実施

本制度は日本における卒前臨床教育の充実向上を図るため、本財団の推薦した日本の医学生が英国の大学医学部において、４週間の臨床実習を体験する制度で、30 回目を実施した。

全国の国公私立大学医学部医学科からの応募学生 30 名について、本財団の選考委員会において選考し、次のとおり 17 名を派遣した。

① 留学期間：
・平成 31 年３月４日(月)～３月 29 日(金)
・令和元年６月３日(月)～６月 28 日(金) リーズ大学

② 留学生：

・ニューキャッスル大学医学部
片山　理紗　岡山大学　　齋藤　　匠　山口大学
大島　崇司　横浜市立大学　　清家　理佐　順天堂大学

・ロンドン大学セントジョージ校医学部
宮岡　慎一　北海道大学　　鬼久保雄太　浜松医科大学
Khongthong Phor Ranat　大阪大学　バクシ星羅　長崎大学

・オックスフォード大学医学部
佐久間真紀　東海大学　　井上　鐘哲　大阪医科大学

・グラスゴー大学医学部
島　　優希　群馬大学　　山本　実果　浜松医科大学
佐々木　健　名古屋大学　　松原　良一　順天堂大学

・リーズ大学医学部
千葉　　馨　北海道大学　　能口　待子　信州大学
野上　晴菜　横浜市立大学

４．医学教育資料等の刊行

平成 30 年度においては、『J.M.E.F.』第 38 号を編集刊行した。また、第 38 回「国内医科大学視察と討論の会」（開催：岡山大学医学部）報告書、平成 29 年度「英国大学医学部での臨床実習のための短期留学」報告書を作成した。

５．その他

（１）平成 30 年度「医学・歯学教育指導者のためのワークショップ」への協力

「医学・歯学教育指導者のためのワークショップ」（文部科学省主催、公益財団法人医学教育振興財団・一般社団法人全国医学部長病院長会議等協力）が、平成 30 年７月 25 日（水）に東京慈恵会医科大学において開催され、これに協力した。

６．会員

全医科大学・医学部 80 校（国立 43 校・公立８校・私立 29 校）が一般会員として事業の実施に参画している。

平成 30 年度に賛助会員として財団の事業にご協力いただいた企業は、次の 12 社である。

アステラス製薬株式会社	アルフレッサ株式会社
学園パーキング株式会社	協和発酵キリン株式会社
グラクソ・スミスクライン株式会社	塩野義製薬株式会社
株式会社スズケン	武田薬品工業株式会社
第一三共株式会社	中外製薬株式会社
東邦薬品株式会社	株式会社メディセオ

７．寄附金等の募集

本財団が実施する各種事業の一層の拡充を図るため、下記事業にあてることを目的として寄附金等の助成を受けた。

・「平成 30 年度医学教育振興財団事業」に対する寄附として
　株式会社医学書院　50,000 円

・「第 30 回医学教育指導者フォーラム」外国人講師招聘旅費として
　公益財団法人持田記念医学薬学振興財団　500,000 円

８．平成 30 年度 医学教育振興財団 会議録

月　日	会　議　等	議　　事
平成 30 年 ５月 17 日(木)	第 13 回理事会 （共用試験実施評価機構会議室）	議案 (1) 平成 29 年度事業報告について (2) 平成 29 年度収支決算について (3) 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について (4) 事業報告等に係る提出書について (5) 国際交流基金の取り崩しについて (6) 一般会員の会費の見直しについて 報告 (1) 職務の執行状況について
６月６日(水)	第 11 回評議員会 （共用試験実施評価機構会議室）	議案 (1) 平成 29 年度事業報告について (2) 平成 29 年度収支決算について (3) 理事の選任について

		報告 （1）事業報告等に係る提出書について （2）国際交流基金の取り崩しについて （3）一般会員の会費の見直しについて
6月21日(木)	第14回理事会 （医学教育振興財団事務局）	議案 （1）理事長・常務理事の選定について
7月24日(火)	第30回医学教育指導者フォーラム （東京慈恵会医科大学）	詳細は「事業報告書」に記載
7月25日(水)	平成30年度医学・歯学教育指導者のためのワークショップ (東京慈恵会医科大学)	詳細は「事業報告書」に記載
8月21日（火）	英国短期留学選考委員会 （共用試験実施評価機構会議室）	議案 （1）面接試験合格者の決定について （2）留学先の決定について
9月13日(木) ～14日(金)	第38回国内医科大学視察と討論の会 （岡山大学医学部）	詳細は「事業報告書」に記載
10月11日(木)	運営委員会 （医学教育振興財団事務局）	議案 平成31年度事業計画（案）について 報告 （1）英国短期留学選考結果について （2）川崎学園・グリーンテンプルトンカレッジ(JMEF)フェローシップ募集について
12月27日(木)	運営委員会 （第一ホテル東京）	議案 平成31年度事業計画（案）について 報告 （1）平成30年事業報告(概要)について
12月27日(木)	医学教育研究助成（平成29年度）報告会（第一ホテル東京）	詳細は「事業報告書」に記載
平成31年 1月24日(木)	審査委員会 （医学教育振興財団事務局）	議案 平成31年度医学教育研究助成の審査について
2月28日(木)	第15回理事会 （医学教育振興財団事務局）	議案 （1）平成31年度事業計画について （2）平成31年度収支予算について （3）財団会員規程の見直しについて （4）各種委員会委員の選任について

		報告 （1）医学教育研究助成について （2）職務の執行状況について

附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第３項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特に無い。

収 支 予 算 書（損益計算ベース）

平成30年４月１日から平成31年３月３１日まで

公益財団法人医学教育振興財団

（単位： 円）

科　　目	公益目的事業会計	法人会計	合　計	29年度予算額	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部					
１ 経常増減の部					
（1） 経常収益					
① 基本財産運用益	2,927,400	1,254,600	4,182,000	4,182,000	0
② 特定資産運用益	1,642,000	0	1,642,000	1,642,000	0
③ 受取会費	22,120,000	9,480,000	31,600,000	32,550,000	△ 950,000
④ 事業収益	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0
⑤ 受取寄付金	20,800,000	0	20,800,000	20,800,000	0
⑥ 雑収益	10,000	0	10,000	10,000	0
経常収益計	48,499,400	10,734,600	59,234,000	60,184,000	△ 950,000
（2） 経常費用					
① 事業費	58,465,000		58,465,000	58,465,000	0
奨学金事業費	20,000,000		20,000,000	20,000,000	0
給料手当	15,050,000		15,050,000	15,050,000	0
退職給付費用	500,000		500,000	500,000	0
法定福利費	2,415,000		2,415,000	2,415,000	0
会議費	600,000		600,000	600,000	0
旅費交通費	1,300,000		1,300,000	1,300,000	0
通信運搬費	300,000		300,000	300,000	0
減価償却費	0		0	0	0
消耗品費	100,000		100,000	100,000	0
賃借料	3,000,000		3,000,000	3,000,000	0
調査研究費	3,000,000		3,000,000	3,000,000	0
広報普及費	1,000,000		1,000,000	1,000,000	0
学術会議費	9,100,000		9,100,000	9,100,000	0
研究助成費	2,000,000		2,000,000	2,000,000	0
雑役務費	100,000		100,000	100,000	0
② 管理費		11,155,000	11,155,000	11,155,000	0
役員報酬		60,000	60,000	60,000	0
給料手当		6,450,000	6,450,000	6,450,000	0
退職給付費用		200,000	200,000	200,000	0
法定福利費		1,035,000	1,035,000	1,035,000	0
福利厚生費		110,000	110,000	110,000	0
会議費		50,000	50,000	50,000	0
旅費交通費		500,000	500,000	500,000	0
通信運搬費		100,000	100,000	100,000	0
減価償却費		0	0	0	0
消耗品費		400,000	400,000	400,000	0
光熱水料費		350,000	350,000	350,000	0
賃借料		1,200,000	1,200,000	1,200,000	0
諸謝金		100,000	100,000	100,000	0
交際費		100,000	100,000	100,000	0
雑役務費		500,000	500,000	500,000	0
経常費用計	58,465,000	11,155,000	69,620,000	69,620,000	0
当期経常増減額	△ 9,965,600	△ 420,400	△ 10,386,000	△ 9,436,000	△ 950,000
２ 経常外増減の部					
（1） 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
（2） 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,965,600	△ 420,400	△ 10,386,000	△ 9,436,000	△ 950,000
一般正味財産期首残高	411,165,678	95,231,559	506,397,237	515,833,237	△ 9,436,000
一般正味財産期末残高	401,200,078	94,811,159	496,011,237	506,397,237	△ 10,386,000
Ⅱ　指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	401,200,078	94,811,159	496,011,237	506,397,237	△ 10,386,000

貸　借　対　照　表

平成31年3月31日現在

（単位：円）

科　　目	当 年 度	前 年 度	増　減
Ⅰ　資産の部			
１　流動資産			
現金	53,926	77,587	△23,661
預金	1,114,060	2,603,381	△1,489,321
流動資産合計	1,167,986	2,680,968	△1,512,982
２　固定資産			
(1)　基本財産			
投資有価証券	299,802,000	299,703,000	99,000
基本財産合計	299,802,000	299,703,000	99,000
(2)　特定資産			
退職給付引当資産	4,837,240	3,579,702	1,257,538
国際交流事業基金			
投資有価証券	210,000,000	210,000,000	0
預金	15,074,306	15,879,511	△805,205
特定資産合計	229,911,546	229,459,213	452,333
(3)　その他固定資産			
什器備品	0	8	△8
電話加入権	233,400	233,400	0
その他固定資産合計	233,400	233,408	△8
固定資産合計	529,946,946	529,395,621	551,325
資産合計	531,114,932	532,076,589	△961,657
Ⅱ　負債の部			
１　流動負債			
未払金	26,081	15,447	10,634
預 り金	666,470	507,501	158,969
流動負債合計	692,551	522,948	169,603
２　固定負債			
退職給付引当金	4,837,240	3,579,702	1,257,538
固定負債合計	4,837,240	3,579,702	1,257,538
負債合計	5,529,791	4,102,650	1,427,141
Ⅲ　正味財産の部			
１　一般正味財産	525,585,141	527,973,939	△2,388,798
（うち基本財産への充当額）	(299,802,000)	(299,703,000)	(99,000)
（うち特定資産への充当額）	(229,911,546)	(229,459,213)	(452,333)
正味財産合計	525,585,141	527,973,939	△2,388,798
負債及び正味財産	531,114,932	532,076,589	△961,657

正 味 財 産 増 減 計 算 書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

（単位： 円）

科　　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1　経常増減の部			
（1）　経常収益			
①　基本財産運用益	3,913,612	4,267,793	△ 354,181
②　特定資産運用益	1,843,706	1,745,662	98,044
③　受取会費	31,600,000	31,600,000	0
④　事業収益	1,084,460	1,040,136	44,324
⑤　受取寄付金	550,000	10,550,000	△ 10,000,000
⑥　雑収益	244	286,203	△ 285,959
経常収益計	38,992,022	49,489,794	△ 10,497,772
（2）　経常費用			
①　事業費	31,536,566	44,550,022	△ 13,013,456
奨学金事業費	0	10,808,008	△ 10,808,008
給料手当	13,589,184	13,596,763	△ 7,579
退職給付費用	880,277	486,394	393,883
法定福利費	2,102,677	2,091,131	11,546
会議費	454,649	468,536	△ 13,887
旅費交通費	367,440	401,880	△ 34,440
通信運搬費	325,601	551,528	△ 225,927
減価償却費	0	0	0
消耗品費	88,560	44,280	44,280
賃借料	2,683,708	2,683,708	0
調査研究費	2,588,818	2,078,502	510,316
広報普及費	187,099	864,402	△ 677,303
学術会議費	6,194,025	8,488,894	△ 2,294,869
研究助成費	1,900,000	1,820,000	80,000
雑役務費	174,528	165,996	8,532
②　管理費	9,844,246	9,722,561	121,685
役員報酬	60,000	60,000	0
給料手当	5,823,934	5,827,182	△ 3,248
退職給付費用	377,261	208,455	168,806
法定福利費	901,145	896,200	4,945
福利厚生費	100,198	118,634	△ 18,436
会議費	50,238	28,178	22,060
旅費交通費	270,660	246,500	24,160
通信運搬費	87,809	46,102	41,707
減価償却費	0	0	0
消耗品費	333,036	453,429	△ 120,393
光熱水料費	308,093	313,521	△ 5,428
賃借料	1,065,576	1,065,576	0
諸謝金	97,200	97,200	0
交際費	0	0	0
雑役務費	369,096	361,584	7,512
経常費用計	41,380,812	54,272,583	△ 12,891,771
当期経常増減額	△ 2,388,790	△ 4,782,789	2,393,999

科　　目	当年度	前年度	増減
２　経常外増減の部 （1）　経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
（2）　経常外費用			
経常外費用計	8	0	8
当期経常外増減額	△ 8	0	△ 8
当期一般正味財産増減額	△ 2,388,798	△ 4,782,789	2,393,991
一般正味財産期首残高	527,973,939	532,756,728	△ 4,782,789
一般正味財産期末残高	525,585,141	527,973,939	△ 2,388,798
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
Ⅲ　正味財産期末残高	525,585,141	527,973,939	△ 2,388,798

正 味 財 産 計 算 書 内 訳 表

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

（単位： 円）

科　　目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合　計
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
1　経常増減の部				
（1）　経常収益				
①　基本財産運用益	2,633,274	1,280,338		3,913,612
②　特定資産運用益	1,843,706	0		1,843,706
③　受取会費	22,120,000	9,480,000		31,600,000
④　事業収益	1,084,460	0		1,084,460
⑤　受取寄付金	550,000	0		550,000
⑥　雑収益	244	0		244
経常収益計	28,231,684	10,760,338	0	38,992,022
（2）　経常費用				
①　事業費	31,536,566		0	31,536,566
奨学金事業費	0			0
給料手当	13,589,184			13,589,184
退職給付費用	880,277			880,277
法定福利費	2,102,677			2,102,677
会議費	454,649			454,649
旅費交通費	367,440			367,440
通信運搬費	325,601			325,601
減価償却費	0			0
消耗品費	88,560			88,560
賃借料	2,683,708			2,683,708
調査研究費	2,588,818			2,588,818
広報普及費	187,099			187,099
学術会議費	6,194,025			6,194,025
研究助成費	1,900,000			1,900,000
雑役務費	174,528			174,528
②　管理費		9,844,246	0	9,844,246
役員報酬		60,000		60,000
給料手当		5,823,934		5,823,934
退職給付費用		377,261		377,261
法定福利費		901,145		901,145
福利厚生費		100,198		100,198
会議費		50,238		50,238
旅費交通費		270,660		270,660
通信運搬費		87,809		87,809
減価償却費		0		0
消耗品費		333,036		333,036
光熱水料費		308,093		308,093
賃借料		1,065,576		1,065,576
諸謝金		97,200		97,200
交際費		0		0
雑役務費		369,096		369,096
経常費用計	31,536,566	41,380,812	0	41,380,812
当期経常増減額	△ 3,304,882	916,092	0	△ 2,388,790
2　経常外増減の部				
（1）　経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
（2）　経常外費用				
経常外費用計		0	0	△8
当期経常外増減額	0	△ 8	0	△ 8
当期一般正味財産増減額	△ 3,304,882	916,084	0	△ 2,388,798
一般正味財産期首残高	428,453,898	99,520,041		527,973,939
一般正味財産期末残高	425,149,016	100,436,125		525,585,141
Ⅱ　指定正味財産増減の部	0	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	425,149,016	100,436,125		525,585,141

附 属 明 細 書

1 基本財産及び特定資産の明細

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産					
	投資有価証券	299,703,000	99,000	0	299,802,000
	基本財産計	299,703,000	99,000	0	299,802,000
特定資産					
	退職給付引当資産	3,579,702	1,257,538	0	4,837,240
	国際交流事業基金(投資有価証券)	210,000,000	0	0	210,000,000
	国際交流事業基金(普通預金)	15,879,511	0	805,205	15,074,306
	特定資産計	229,459,213	1,257,538	805,205	229,911,546

2 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	3,579,702	1,257,538	0	0	4,837,240

財　産　目　録

平成３１年３月３１日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）				
	現金	手元保管	運転資金として	53,926
	預金	＜普通預金＞ みずほ銀行町村会館出張所 りそな銀行本郷支店	運転資金として	980,756
		＜通常貯金＞ ゆうちょ銀行	運転資金として	133,304
流動資産合計				1,167,986
（固定資産）				
基本財産	投資有価証券	第51回ソフトバンク社債他	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。（共用財産）	299,802,000
特定資産	退職給付引当資産	＜普通預金＞ 三菱東京UFJ銀行赤坂支店	職員退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	4,837,240
	国際交流事業基金	＜投資有価証券＞ 第13回大和証券グループ社債他	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	210,000,000
		＜普通預金＞ 三菱東京UFJ銀行虎ノ門支店	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	15,074,306
その他の固定資産	什器備品	財団内：金庫、書架他	法人の基礎となる財産であり、公益目的保有財産として70%、管理目的として30%使用している。（共用財産）	0
	電話加入権	財団内：03-3815-3895他2本	法人の基礎となる財産であり、公益目的保有財産として70%、管理目的として30%使用している。（共用財産）	233,400
固定資産合計				529,946,946
資産合計				531,114,932
（流動負債）				
	未払金	職員	職員２名の３月分の超過勤務手当として	26,081
	預り金	職員	職員３名の源泉所得税、社会保険料、住民税の預かり分	666,470
流動負債合計				692,551
（固定負債）				
	退職給付引当金	職員	職員３名に対する退職金の支払いに備えたもの	4,837,240
固定負債合計				4,837,240
負債合計				5,529,791
正味財産				525,585,141